

## 令和元年度事業の実績報告

学園寄附行為第 34 条第 2 項に基づき令和元年度事業の実績について報告する。

(概要)

当学園は、平成 31 年 4 月 1 日をもって、学園名を「矢谷学園」から「鳥取学園」に改め、鳥取県東部地域における私立学校の中心的存在として、一層の発展を目指すこととした。

近年の人口減少と少子高齢化の進展に伴う幼児・児童の減少により、今後、園児や生徒の確保が一層困難になることが見込まれる。なお、令和元年 10 月の保育料の無償化や令和 2 年 4 月からの私立高校授業料の無償化は学園運営にとって有利に働く面もあるが、一方で、今後、学校・園間の生徒・園児の獲得競争が激しくなることが予想され、個性的で魅力ある学園運営がますます重要となっている。

高校においては、平成 28 年度からの耐震改築工事が進み、令和元年度には城北アリーナ、城北横丁及び人工芝グラウンドが、また令和 2 年 4 月には特別教室棟の供用が始まった。残すは多目的ホール棟と外構工事のみとなっている。また、令和元年度に始まった城北横丁での寮生給食や昼食販売も好評であり、教育の充実と相まって令和 2 年 4 月の生徒の確保は順調であった。

幼稚園では近年園児の減少傾向が続いており、危機的状況である。また、第三幼稚園の一部園舎の耐震強度不足が明らかになり、耐震補強工事を行うとともに、令和 2 年度には仮園舎の建設を行うことになるなど、緊急的対応が求められている。このような状況を踏まえながら、今後の幼児減少などを見極めつつ、五つの幼稚園のあり方を抜本的に検討することが急務となっている。

鳥取城北日本語学校では 17 名の留学生を受け入れ、令和 2 年 3 月には無事に企業へ就職させることができた。令和 2 年度には 58 名の留学生を受け入れる予定であるが、定員 100 名には満たない状況であり、赤字経営が続いている。留学生の確保とともに、鳥取市などの関係機関の協力を得ながら就職先の開拓に一層力を入れていく必要がある。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和 2 年 4 月には全国に緊急事態宣言が発令された。日本語学校では予定していたベトナムからの留学生が入国できないという緊急事態となっている。高校の始業は大幅に遅れた上に再休校を余儀なくされ、幼稚園では登園自粛が求められているなど、これまで経験したことがない対応

が求められている。

以上のおり、厳しい経営環境と不確実、不透明な情勢の中ではあるが、建学の精神に則り、積極的な学園運営に努めてきたところである。

(寄附行為 第34条第2項 理事長は、毎会計年度終了後2か月以内に、決算及び事業の実績を評議員会に報告し、その意見を求めなければならない。)

## 1. 事業実績 (学園全体)

(1) 名 称 学校法人 鳥取学園

主たる事務所の住所 鳥取市西品治 848 番地

(2) 法人成立 昭和 38 年 3 月 28 日

(3) 目 的 教育基本法及び学校教育法に従い学校教育を行い豊かな人間性を涵養し、社会に貢献する有意な人材を育成する。就学前教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律に従い、幼児期の教育・保育を行い、生涯にわたる人格形成の基礎を培う。

## (4) 設 置 校

区 分	開 校	知事認可日	備 考
鳥取城北高校	昭和 38 年 4 月	昭 38. 3. 12	—
認定こども園 鳥取第一幼稚園	昭和 30 年 6 月 平成 30 年 4 月	昭 30. 6. 7 平 30. 4. 1	平成 30 年度から幼稚園型 認定こども園に移行
認定こども園 鳥取第二幼稚園	昭和 41 年 4 月 平成 26 年 4 月	昭 41. 4. 6 平 26. 3. 31	平成 27 年度から幼保連携型 認定こども園に移行
認定こども園 鳥取第三幼稚園	昭和 43 年 4 月 平成 30 年 4 月	昭 43. 3. 13 平 30. 4. 1	平成 30 年度から幼稚園型 認定こども園に移行
認定こども園 鳥取第四幼稚園	昭和 53 年 4 月 平成 24 年 4 月	昭 53. 2. 27 平 24. 3. 30	平成 27 年度から幼保連携型 認定こども園に移行
認定こども園 鳥取第五幼稚園	昭和 55 年 4 月 平成 30 年 4 月	昭 55. 1. 12 平 30. 4. 1	平成 30 年度から幼稚園型 認定こども園に移行
鳥取城北日本語 学校	平成 31 年 4 月	平 29. 11. 16	平成 31 年 2 月 22 日に、法務省 から留学生受入校として適合す る旨の告示

(5) 学生・生徒・園児数の状況 (令和2年5月1日現在) (単位：人)

学校名	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
鳥取城北高等学校	965	1,070	1,111	1,058	1,129
認定こども園 鳥取第一幼稚園	208	226	222	203	170
認定こども園 鳥取第二幼稚園	311	307	285	288	275
認定こども園 鳥取第三幼稚園	108	103	91	79	88
認定こども園 鳥取第四幼稚園	326	339	315	327	295
認定こども園 鳥取第五幼稚園	99	102	96	90	80
認定こども園 計	1,052	1,077	1,007	987	908
鳥取城北日本語学校	-	-	-	17	58
合 計	2,017	2,147	2,118	2,062	2,095

(6) 建学の精神

学校法人鳥取学園は、「社会をつくるのは人であり、人をつくるのは教育である。そして社会の発展の基礎は教育にある」との認識の上に立ち、教育を通して社会に貢献することを使命とする。

特に人間形成の基礎を育む幼稚園教育、人間性の一層の伸長と人格の陶冶を図る高等学校教育を重視し、それぞれの教育目標を具現化するために鳥取幼稚園、鳥取城北高等学校を設置する。

また、地域社会の要請に応えるために鳥取城北日本語学校を設置する。

平成31年4月には、法人名称を矢谷学園から鳥取学園に変更し、法人の一層の発展を目指すこととした。

(7) 学校法人の沿革

昭和

24年10月 財団法人鳥取ドレスメーカー女学院設置

30年4月 鳥取幼稚園開園

38年3月 学校法人矢谷学園 設置認可

理事長 矢谷 允之

4月 鳥取城北高等学校開校 (普通科・商業科・家庭科)

41年4月 鳥取第二幼稚園 設立認可

43年3月 鳥取第三幼稚園 設立認可

4月 鳥取城北高等学校 家庭科を廃止し商業科に商業家庭コースを設ける

51年4月 鳥取城北高等学校 専攻科設置

53年2月 鳥取第四幼稚園 設立認可

55年1月 鳥取第五幼稚園 設立認可

63年11月 鳥取情報処理専門学校 設立認可

平成

2年 3月 財団法人鳥取ドレスメーカー女学院解散  
 16年 3月 鳥取城北高等学校 専攻科廃止  
 22年 4月 鳥取情報処理専門学校を専門学校鳥取情報経理学院に名称変更  
 24年 3月 はっぴい保育園 設立認可  
 25年 4月 理事長 山根 昌弘  
 26年 3月 専門学校鳥取情報経理学院 閉校  
 おひさま保育園 設立認可  
 29年 11月 鳥取城北日本語学校 認可  
 30年 3月 鳥取幼稚園の全園が認定こども園化  
 4月 理事長 石浦 外喜義  
 31年 4月 法人名称を鳥取学園に変更  
 鳥取城北日本語学校 開校

(8) 役員等 (令和2年4月1日現在)

① 理事

	職務	氏名	就任年月日	勤務	主な現職
1	理事長	石浦 外喜義	(24.5.30) 30.4.1	常勤	鳥取城北高校校長 1号
2	常務理事	林 喜久治	(26.9.25) 31.4.1	常勤	元鳥取大学理事・副学長 5号
3	理事	油野 利博	30.7.27	非常勤	鳥取城北日本語学校校長 3号 鳥取大学名誉教授
4	理事	石川 晴久	(25.4.1) 30.5.30	常勤	鳥取城北日本語学校 4号
5	理事	西村 岩雄	30.4.1	常勤	鳥取城北高校教頭 4号
6	理事	田村 雅子	30.4.1	常勤	認定こども園鳥取第一幼稚園長 4号
7	理事	青木 真奈美	2.4.1	常勤	認定こども園鳥取第四幼稚園長 2号
8	理事	金井 哲治	(26.7.12) 31.4.1	非常勤	元スギホールディングス(株)常勤監査役 5号

注) 就任年月日の ( ) 内は、当初の理事就任年月日

② 監事 (寄付行為第6条 2人)

	職務	氏名	就任年月日	勤務	主な現職
1	監事	花房 幸範	(26.9.30) 31.4.1	非常勤	アカウンティングワークス(株) 代表取締役 (公認会計士)
2	監事	池上 勝治	(26.12.22) 31.4.1	非常勤	元智頭急行(株) 代表取締役社長

注) 就任年月日の ( ) 内は、当初の監事就任年月日

### ③ 役員待遇者

	職 務	氏 名	就任年月日	勤 務	主な現職
1	スーパーバイザー	中江 康人	(28.4.1) 31.4.1	非常勤	AOI TYO Holdings (株)代表取締役社長
2	スーパーバイザー	山内 三郎	30.7.27	非常勤	(株)リテールサポート 社長
3	アンバサダー	横綱 白鵬 翔	(27.2.20) 30.2.20	非常勤	横 綱

注) 就任年月日の ( ) は当初の就任年月日

### ④ 理事会の開催状況

	開催日	主な議題等
1	31.4.26	評議員推薦・校舎改築収支シミュレーション
2	1.5.30	平成30年度決算及び事業実績並びに監査報告・学園評議員の選任・鳥取城北日本語学校納付金徴収規則の制定
3	1.6.28	学園評議員の選任・平成30年度決算監事監査報告への対応方針
4	1.7.19	校舎改築事業一期工事の請負変更契約の締結・労働基準監督署の指導への対応
5	1.8.23	鳥取城北高等学校第三体育館大規模改修工事の契約締結・校舎改築第一期工事の請負変更契約の締結・保育料無償化に係る給食費の設定
6	1.9.20	幼稚園給食費の設定・幼稚園園則の一部改正・高校就学支援金の上限額の設定に伴う授業料の見直し
7	1.10.25	城北横丁(食堂)の運営状況・学園全体のシステムの検討・私立学校法の一部改正
8	1.11.22	令和2年度当初予算編成の基本方針(案)・備品購入契約(特別教室棟)・令和2年度当初予算(案)主要事業項目一覧
9	1.12.13	城北高校校舎改築事業全体計画の変更・令和元年度12月補正予算(案)(校舎改築関係)・第三幼稚園耐震調査結果
10	2.1.15	認定こども園鳥取第三幼稚園耐震調査結果への対応・令和元年度1月補正予算(案)・建設工事請負契約の締結(認定こども園鳥取第三幼稚園平屋棟耐震補強工事)
11	2.2.21	鳥取学園寄附行為の一部変更・鳥取城北高校学則の一部改正・高校生徒寮の現状等
12	2.3.19	令和2年度当初予算(案)・役員の報酬等の支給基準・役員の報酬等に関する規程の全部改正・役員等に関する規程の一部改正・理事の選任・認定こども園鳥取第三幼稚園納付金徴収規則の一部改正等・組織運営に関する規則の一部改正

⑤ 評議員(寄附行為第19条 令和2年4月1日現在)

		氏名	就任年月日	主な現職
1号(職員) 理事会推薦 (評議員会選任)	1	石川 晴久	30.5.30	鳥取城北日本語学校副校長
	2	西村 岩雄	31.4.1	鳥取城北高校教頭
	3	伊藤 真介	31.4.1	鳥取城北高校主幹教諭
	4	浦島 洋文	30.5.31	鳥取城北高校教諭
	5	田村 雅子	30.5.31	認定こども園第一幼稚園 園長
	6	横山 美代子	29.5.30	認定こども園第三幼稚園 教務主任
	7	北村 由紀子	30.5.31	認定こども園第四幼稚園 副園長
	8	吉本 尚	1.5.31	鳥取城北日本語学校 常勤講師
	9	山田 健二	31.4.1	鳥取城北高校教諭
2号(卒業生) (理事会選任)	10	谷口 洋一	31.4.1	株式会社谷口工務店代表取締役
	11	佐々木 重行	31.4.1	
	12	砂田 典男	31.4.1	鳥取市議会副議長
3号(学識経験者) (理事会選任)	13	岡田 信俊	30.6.29	有限会社オカダ人形 代表取締役社長
	14	近藤 剛	1.8.1	鳥取短期大学教授
	15	上田 隆司	30.5.31	鳥取城北高校PTA会長
	16	中川 貴志	30.5.31	認定こども園 第一幼稚園 PTA 会長
	17	田中 治	30.5.31	認定こども園 第二幼稚園 PTA 会長
	18	奥田 信行	1.5.31	認定こども園 第三幼稚園 PTA 会長
	19	武田 吉弘	1.5.31	認定こども園 第四幼稚園 PTA 会長
	20	浅見 豊	1.5.31	認定こども園 第五幼稚園 PTA 会長
	21	倉本 慎太郎	30.6.29	鳥取市立西中学校教諭
	22	岸本 一洋	30.12.14	株式会社山陰合同銀行 鳥取営業所 部長代理

⑥ 評議員会の開催状況

	開催日	主な議題等
1	1.5.30	平成30年度決算及び事業実績並びに監査報告・学園評議員の選任
2	1.12.13	城北高校校舎改築事業全体計画の変更・令和元年度12月補正予算(案)(校舎改築関係)
3	2.1.25	第三幼稚園耐震調査結果への対応、令和元年度1月補正予算(案)
4	2.2.21	鳥取学園寄附行為の一部変更
5	2.3.19	令和2年度当初予算(案)・役員の報酬等の支給基準

## (9) 学園全体の取り組み

### ① 学園名の変更

当学園の前身である財団法人鳥取ドレスメーカー女学院が、昭和24年10月に設立されてから、70周年の節目を迎える平成31年4月1日をもって、学園名称を「鳥取学園」と改め、今後鳥取県東部地区における私立学校の中心的存在として、一層の発展と飛躍を目指すこととした。

### ② 組織改正（平成31.4月）

ア 法人事務局の内部組織として、新たに管理室を設置し、総務室、会計室の3室体制。

イ 高校の内部組織として新たに働き方改革推進室を設置。

### ③ 鳥取学園 心の健康づくり計画

厚生労働省「労働者の心の健康の保持増進のための指針」に従って、学園の心の健康づくり活動の具体的方法を定め、教職員の心の健康づくりと活気ある職場づくりに取り組む。（令和2年1月1日施行）

- ・鳥取幼稚園健康講習会「心のセルフメンテナンス」（令和元年12月25日）
- ・「管理職対象」パワーハラスメント研修会（令和元年12月26日）

### ④ 情報公開

- ・広報委員会（平成30.10月設置）開催。学園通信 MIRAI や鳥取学園パンフレットの発行、広報勉強会開催

### ⑤ あいサポート企業（団体）の認定

全ての人が住みやすい社会の実現を目指す「あいサポート運動」に賛同し、県からあいサポート企業（団体）の認定を受けた。（平成30年10月26日）

- ・あいサポート運動推進研修会開催（令和元年8月21日）

### ⑥ 次世代育成支援対策推進法に基づく学校法人矢谷学園行動計画

（平成23年4月から5年間、更新：令和3年3月31日まで）

目標1 子育てを行う労働者等の職業生活と家庭生活との両立を支援するため雇用環境の整備

- ① 教職員に育児休業中の待遇等について周知徹底を図るとともに、男性も育児休業が取得できることの周知徹底と取得を促進する
- ② 全教職員に短時間勤務制度の周知徹底を図り、小学校就学の始期に達する子と同居しその子を養育する教職員への取得を促進する。

目標2 働き方の見直しに資する多様な労働条件の整備

- ① 有給休暇の取得促進のため、時間単位、半日単位休暇の周知徹底を図るとともに、長期休業中の取得を促進する
- ② 教職員に学校行事や地域行事に積極的に参加するよう周知するとともに、参観日等のための有給休暇取得を奨励する。
- ③ 所定外労働は例外的な場合のみに行われるものであるという認識の周知徹底と意識改善を図り、所定外労働の削減を図る

- ⑦ 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画  
 (平成30年2月1日～令和3年3月31日)  
 目標1：男女ともに平均勤続年数を2年以上延ばす  
 目標2：今後ともに女性の管理職の育成を行い、女性の働きやすい環境整備、  
 処遇改善、職員のキャリアアップ等を行い、就業年数を延ばす
- ⑧ 鳥取県男女共同参画推進企業認定に基づく取組  
 (初回認定 平成23年3月1日、更新 平成26年2月28日、  
 更新 平成29年3月29日、更新 令和2年3月23日)  
 母性健康管理のための休暇等に関する規程 平成26年10月1日施行

## 2. 事業実績 (施設別)

### (1) 鳥取城北高等学校

昭和38年4月の開校から58年経過、質実剛毅の校訓を基底に全日制32学級を編成。平成31年4月から「普通コース」を「研志コース」に名称変更した。ホスピタリティを重視し、生徒・保護者・教師がともに幸せになれる教育をめざし、グローバルスタンダードな視点を持ち、社会に通用する力と豊かな心を育む教育活動を展開した。

また、校舎・体育館の耐震改築工事は概ね計画通り進捗し、令和元年度には第一体育館棟及び人工芝グラウンドが供用を開始し、特別教室棟の改築と第三体育館の大規模改修も完了した。残す多目的ホール等他の工事も令和2年度中には全て完成する予定である。

主な項目	概 要				
学級編成	定員 (人)	生徒数 (令和.5/1)		参考 (令和2.5/1)	
	普通	32CL 1,058人		33CL 1,129人	
教職員数 令和元5/1 ( )内は、令和2.5/1	区分	教員	職員	計	合計
	常勤	78 (81)	17 (16)	95 (97)	121人 (125人)
	非常勤	11 (13)	15 (15)	26 (28)	
学力向上の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強合宿 (2回)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・志学初期指導合宿 日本海新聞社 経費 440円/人</li> <li>・志学受験生合宿 大山 経費 26,730円/人</li> </ul> </li> <li>・城北栄光塾 (無料校内塾)、栄光塾合宿 経費 100,680円</li> <li>・研志塾 (無料校内塾)</li> <li>・放課後アクティブタイム (学習定着率高揚)</li> <li>・FabLab (ファブラボ：ものづくり部備品) 経費 72,928円</li> </ul>				
保育体験活動	・鳥取幼稚園児とのふれあい学習 経費 46,440円 (県補助 3/4)				
教育相談事業	・スクールカウンセラー配置 2人 経費 2,060,476円 (県補助 3/4 最大600,000円)				



<p>施設設備充実</p>	<p>○鳥取城北高等学校グラウンド整備工事（人工芝）        工期 31.3/1～1.8/25        施工業者 松本・平田・八幡特定建設工事共同企業体        契約金額 138,024 千円        整備内容        ・グラウンド全体面積 8,155 m<sup>2</sup>        ・サッカー場 7,474 m<sup>2</sup>(インフィールド<sup>※</sup> 62m×83m) 人工芝        ・外周走路 330 m<sup>2</sup> (幅 2m) =全天候型舗装        ・防球ネット H=10m、L=123m        ・シュート練習壁 1 基 ・外溝工 外</p> <p>○鳥取城北高等学校特別教室棟耐震改築工事        工期 30.8/28～2.2/28        施工業者 松本・平田・八幡特定建設工事共同企業体        契約金額 292,680 千円        整備内容 (研志棟) 工事(理科室、調理室、音楽室等)        (638,4 m<sup>2</sup>)</p> <p>○鳥取城北高等学校第三体育館（現有）改修工事        (延面積 1,920,94 m<sup>2</sup>)        工期 1.8/27～2.2/27        施工業者 松本・平田・八幡特定建設工事共同企業体        契約金額 73,150 千円        整備内容 大規模改修（屋根防水、外壁改修        剣道場、アリーナ改修外）</p>
<p>学校給食</p>	<p>○寮（常盤寮、親和寮、誠心寮、城翔寮）        ・新たなランチルームが完成し、フェリースに業務委託をした。        ・137,798 食＝県内産 31.7% (H31 年 105,689 食)        朝…48,536 食 昼…41,485 食 夜…47,777 食        ・一般生徒及び教職員を対象とした昼食提販売        ・ランチルームに絆コーナーを設け、牛丼、カレー、        ラーメン等の販売をフェリースに委託</p>
<p>広報活動</p>	<p>・入試説明会（東部 9 月、中・西部 10 月）        ・進学相談会の充実(R 元. 11～12)        ・HP 改修        ・先輩との座談会(10 月)        ・進路説明会(6 月～9 月)各中学校へ出向いて        ・中学生対象栄光塾（12 月）        ・ケーブルTV「部活動ガンバ」など番組        ・オープンスクール（7 月末） ・部活動体験入部（8 月）        ・鳥スポNEWS 賛助会員        &lt;大相撲を始めとする本校卒業生の活躍&gt;</p>

就職内定率	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
	100%	100%	100%	100%	100%	100%
進学率	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
	72.8%	77.7%	74.0%	76.5%	78.1%	82.9%
	(大学進学率 近年 30%台から元年度 50.9%へ)					
進学状況	<b>【大学入試合格状況】</b> 国公立大学 49名 (公立短大 1名) (鳥取大学 12名 (農学部等)、島根大学 2名 外) 私立大学 216名 (私立短大 24名) (同志社大学 2名、関西大学 6名、立命館大学 1名 外) 看護系大学 2名、看護専門学校 10名					
学校 評価 (学校運営 の改善)	重点 目標	生徒指導、学習指導を学校運営の両輪として、「鳥取城北生 5つの誓い」を実践する。				
	各項目 評価	学力強化	進学指導	就職指導	人権教育	
		B (B)	B (B)	A (A)	A (A)	
		生徒指導	生徒会	教育相談		
		A (A)	B (B)	A (A)		
目標達成度合により A>B>C>D で評価 ( ) は平成 30 年度評価						
部 活 動	運動部	○相撲部 ・全国高等学校相撲選手権大会兼新人選手権大会 団体優勝 ・鳥取県高等学校総合体育大会 団体・個人優勝 ・中国高等学校相撲選手権大会 団体優勝 個人優勝 (重量級・無差別級) ・国民体育大会相撲競技 団体 優勝 ・全国選抜高校相撲弘前大会 団体・個人優勝 ○女子相撲部 ・第 1 回全日本相撲個人体重別選手権大会 個人 軽量級 3 位、重量級 準優勝 ・第 5 回全国女子相撲選抜ひめじ大会 個人 超軽量級 3 位、軽量級 3 位、 中量級 優勝・3 位、重量級 3 位 ・第 10 回全日本女子相撲郡上大会 個人 重量級 準優勝 個人 中量級 3 位 ・第 55 回中国相撲選手権大会 団体 優勝 個人 重量級 3 位、軽重量級 準優勝・3 位、 中量級 優勝・3 位、軽量級 優勝・3 位 超軽量 準優勝・3 位 ・第 24 回全日本女子相撲選手権大会 団体 優勝 個人 軽量級 3 位、中量級 優勝 重量級 3 位、無差別級 3 位 ○硬式野球部 ・平成 31 年度春季鳥取県高等学校野球大会 準優勝 ・第 132 回春季中国地区高校野球選手権大会鳥取大会 優勝				

<p style="text-align: center;">部 活 動</p>	<p style="text-align: center;">運動部</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 101 回全国高等学校野球選手権鳥取大会 準優勝</li> <li>・ 令和元年度秋季鳥取県高等学校野球大会 優勝</li> <li>・ 第 133 回秋季中国地区高等学校野球大会 準優勝</li> <li>○女子ソフトボール部 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中国高校ソフトボール選手権大会 ベスト 8</li> <li>・ 中国高校ソフトボール大会鳥取県予選会 優勝</li> <li>・ 鳥取県高等学校総合体育大会ソフトボール競技の部 準優勝</li> <li>・ 鳥取県高校ソフトボール新人戦兼全国選抜大会鳥取県予選会 6 年連続優勝</li> <li>・ 中国高校ソフトボール新人大大会 3 位</li> </ul> </li> <li>○サッカー部 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鳥取県高等学校総合体育大会サッカー競技の部 女子 初優勝</li> <li>・ 第 8 回中国高等学校女子サッカー選手権大会 3 位</li> <li>・ 第 28 回全日本高等学校女子サッカー選手権大会 鳥取県予選会 優勝</li> <li>・ 第 54 回鳥取県高校サッカー新人戦 優勝</li> </ul> </li> <li>○バレーボール部 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中国高校バレーボール選手権大会鳥取県大会 初優勝</li> </ul> </li> <li>○男子バスケットボール部 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鳥取県高等学校総合体育大会バスケットボール競技の部 初優勝</li> <li>・ 令和元年度第 72 回全国高等学校バスケットボール 選抜優勝大会 鳥取県予選会 優勝</li> <li>・ 令和元年度鳥取県高等学校バスケットボール新人大大会 優勝</li> <li>・ 中国高等学校バスケットボール新人大大会 3 位</li> </ul> </li> <li>○女子バスケットボール部 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鳥取県高等学校総合体育大会バスケットボール競技の部 準優勝</li> <li>・ 第 63 回中国高等学校バスケットボール選手権大会 鳥取県予選 優勝</li> <li>・ 令和元年度鳥取県高等学校バスケットボール新人大大会 優勝</li> <li>・ 第 94 回天皇杯、第 85 回皇后杯全日本バスケットボール 選手権大会鳥取県予選 優勝</li> <li>・ 全国高等学校バスケットボール選手権大会鳥取県予選会 準優勝</li> </ul> </li> <li>○陸上・駅伝部 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鳥取県高等学校総合体育大会 1 位 (男子 200m・400m・女子 5000mW・女子 4×100mR・女子 走高跳・女子三段跳・女子やり投)</li> <li>・ 全国高校駅伝競走大会県予選会 男子・女子 優勝</li> <li>・ 第 70 回全国高校駅伝競走大会 (京都) 出場 男子・女子</li> <li>・ 第 74 回米子～鳥取間駅伝競走大会 優勝</li> </ul> </li> </ul>
--	--	---

部 活 動	運動部	<p>○男子剣道部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度全国高等学校剣道選抜大会鳥取県予選会 団体優勝</li> </ul> <p>○女子剣道部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取県高等学校総合体育大会剣道競技の部 個人 優勝</li> <li>・令和元年度鳥取県高等学校新人剣道大会 団体優勝</li> <li>・令和元年度全国高等学校剣道選抜大会鳥取県予選会 団体 2位</li> </ul> <p>○ボクシング部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取県高等学校総合体育大会 優勝（ライト級・フライ級）2位（バンタム級）</li> </ul> <p>○硬式テニス部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年度鳥取県高等学校テニス選手権春季大会 女子シングルス 優勝</li> <li>・令和元年度鳥取県高等学校総合体育大会テニス競技の部 女子シングルス 準優勝</li> <li>・令和元年度鳥取県高等学校テニス新人戦 個人の部 男子シングルス 優勝</li> </ul> <p>○応援チア部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第103回高等学校相撲金沢大会参加 優秀応援団賞</li> </ul>
	文化部	<p>○書道部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第28回国際高校生選抜書展 準大賞（全国3位）</li> </ul> <p>○吹奏楽部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第59回全日本吹奏楽コンクール鳥取県大会小編成部門 金賞</li> <li>・第42回アンサンブルコンテスト鳥取県大会 サクソフォン三重奏 銀賞</li> <li>・鳥取県高等学校総合音楽会 優良賞 トランペット 優良賞 トロンボーン</li> </ul> <p>○地域デザイン部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第13回鳥取県ジュニア郷土研究大会 「鳥取県地域社会研究会会長賞」</li> </ul> <p>○新聞部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第41回鳥取県高校新聞コンクール 優秀賞</li> </ul> <p>○美術部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第20回高校生国際美術展 優秀賞</li> <li>・第34回鳥取県高等学校総合文化祭美術工芸展 奨励賞</li> </ul>

## (2) 認定こども園鳥取幼稚園

私学の幼児教育 66 年の伝統を基に、人格の基礎を形成する重要な時期であり、感動する心、豊かな感性をもち、自立心を育て思いやりの心を育む教育活動を展開し、負託に応える園づくりに努めた。

また、平成 30 年度には第一、第三、第五の各幼稚園が幼稚園型認定こども園として認定され、全園が認定こども園に移行したことにより、各園が一層連携を深めて園児確保に努めている。

主な項目	概 要				
学級編成	定 員 (人)		園児数 (1.5/1)		参考 (令和 2.5/1)
	認定こども園 鳥取第一幼稚園	210	9CL 203 人		8CL 169 人
	認定こども園 鳥取第二幼稚園	300	13CL 288 人		13CL 275 人
	認定こども園 鳥取第三幼稚園	105	4CL 79 人		4CL 88 人
	認定こども園 鳥取第四幼稚園	300	14CL 327 人		13CL 295 人
	認定こども園 鳥取第五幼稚園	105	4CL 90 人		4CL 81 人
	合 計	1,020	44CL 987 人		42CL 908 人
教職員数 令和元.5/1 ( )内は、 令和 2.5.1	区 分	教 員	職 員	計	合 計
	常 勤	92 (79)	15 (12)	107 (91)	178 人 (163)
	非常勤	61 (59)	10 (13)	71 (72)	
園児募集	地域密着生活情報誌「つばさ」年 2 回掲載 (6 月号・10 月号) 経費 1,037,672 円				
教育・保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園 : 平日 午前 10 時～午後 2 時 (水曜日 午前 10 時～午後 1 時)</li> <li>・認定こども園 : 平 日 午前 7 時 30 分～午後 7 時</li> <li>・土曜日 午前 7 時 30 分～午後 6 時</li> <li>・預かり保育利用: 延 2,953 人</li> </ul>				
各種教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽教室 (ピアノ、リトミック 担当: 園音楽教員 延 3,605 人)</li> <li>・体育教室 (ボール、器具遊び、プール延 123 回)</li> <li>・英語教室 (歌、ゲーム等による興味つけ 延 357 レッスン)</li> </ul>				
施設整備 充 実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三幼稚園 東側便所改修工事 工期 1.8/27～1.10/26 工事費 4,180,000 円 (内県補助金 1,407,000 円) (八幡コーポレーション(株))</li> <li>・園舎長寿命化計画策定事業 委託料 1,353 千円 ((有) 望月設計事務所)</li> <li>・認定こども園 鳥取第三幼稚園園舎 (鉄骨造) 耐震調査 委託費 1,551 千円 (内市補助金 940,000 円) ((有) 望月設計事務所)</li> </ul>				

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定こども園 鳥取第三幼稚園 平屋棟耐震補強工事 工事費 10,300 千円 (八幡コーポレーション(株))</li> <li>・認定こども園 鳥取第三幼稚園敷地地形測量調査業務 委託料 1,375 千円 (アサヒコンサルタント(株))</li> <li>・認定こども園 鳥取第三幼稚園園舎補強設計及び仮設園舎実施設計業務 委託料 2,400 千円 ((有) 望月設計事務所)</li> <li>・認定こども園 鳥取第三幼稚園平屋棟耐震補強工事に係る工事監理業務 委託料 550 千円 ((有) 望月設計事務所)</li> </ul>
地域・園行事等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一園 日進地区公民館祭り参加、コーラスグループ「さくらんぼ」との交流</li> <li>・二園 醇風地区発表会、公民館祭り参加</li> <li>・三園 らっきょうウォーク</li> <li>・四園 マーチングフェスタ、美保南地区公民館祭り参加</li> <li>・五園 防火パレード、末恒地区公民館祭り参加</li> </ul> <p>・幼稚園を活用した子育て支援(親子体育教室一・二・四園で実施 計78回)</p> <p>・各園再資源化の取り組み(継続)</p>
給食	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定こども園 幼児：鳥取幼稚園給食センター委託 199,134 食 乳児：レパスト 委託 42,169 食</li> </ul>
学校評価	<p>○各園の総合評価 ☆教育目標</p> <p>第一幼稚園 ○ (A) ☆豊かな心を持ち生き生きと遊ぶ子ども</p> <p>第二幼稚園 ○ (A) ☆生きる力があふれる子ども</p> <p>第三幼稚園 ○ (A) ☆豊かな感性をもち主体的に活動する子ども</p> <p>第四幼稚園 ○ (A) ☆ゆたかで やさしく たくましいこども(3歳以上児) こころも からだも すこやかに そだちあうこども(3歳未満児)</p> <p>第五幼稚園 ○ (A) ☆明るく たくましく 心豊かな子ども</p> <p>&lt;A 十分達成 B 達成 C 取り組みが十分でない D 不十分&gt; ( ) は令和元年度評価</p>

### (3) 鳥取城北日本語学校

- ・平成30年10月26日 広島入国管理局より留学生受入校として適合する旨の連絡。
- ・平成31年2月22日 法務省から留学生受入校として適合する旨の告示。
- ・平成31年4月1日鳥取城北日本語学校を開校し、初年度はベトナムから17名の留学生を受入れた。(令和2年3月13日 第1回卒業式)
- ・令和2年度の留学生は、58名入学を予定している。

課程	コース名	修業年限	収容定員	クラス数
日本語学科	一般コース	1年	100名	5クラス
教職員数 令和元.5/1 ( )内は令和2.5.1	区分	教員	職員	合計
	常勤	5(6)	1(2)	6(8)

学 校 評 価	教 育 目 標	日本での生活を通じて、母国の誇りを持って日本の社会で生活できる人材の育成を目指す。				
	各 項 目 評 価	教育理念	学校運営	教育活動	学修成果	学生支援
		3	3	3	4	4
		教育環境	学生募集	財 務	法令順守	社会貢献
		3	3	3	3	3
< 4…適切    3…ほぼ適切    2…やや不適切    1…不適切 >						

#### (4) 事 務 局

法人業務を総括し、理事会・評議員会の開催事務や県の検査等に対応した。

職員数	区 分	職 員	合 計
令和元. 5/1	常 勤	11 (10)	12 (11)
( )内は令和 2.5.1	非常勤	1 (1)	

主な項目	概 要
公認会計士 委嘱	池 原 浩 一 (平成 30 年度会計監査) 契 約 (年度毎) 平成 30 年 6 月 1 日 経費 1,512 千円
法律顧問契約	弁護士 駒 井 重 忠 契 約 平成 25 年 9 月 26 日 (期間継続) 経費 648 千円
社会保険労務士 顧問契約	特定社会保険労務士 山 下 靖 夫 契 約 平成 28 年 9 月 30 日 (期間継続) 経費 130 千円
規則制定・改正 状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取城北日本語学校納付金規則 制定 (H31. 4. 1 付)</li> <li>・鳥取幼稚園運営規則 一部改正 (R1. 10. 1 付)</li> <li>・鳥取城北高等学校学則 一部改正 (R2. 4. 1 付)</li> <li>・学校法人鳥取学園寄附行為 一部改正 (R2. 4. 1 付)</li> <li>・役員等の報酬等の支給の基準制定 (R2. 4. 1 付)</li> <li>・役員等の報酬に関する規程の全部改正 (R2. 4. 1 付)</li> <li>・役員等に関する規程の一部改正 (R2. 4. 1 付)</li> <li>・鳥取幼稚園納付金徴収規則の一部改正 (R2. 4. 1 付)</li> <li>・組織運営に関する規則の一部改正 (R2. 4. 1 付)</li> </ul>
監査受検状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県補助金監査 (鳥取第二幼稚園) 平成 31 年 4 月 23 日</li> <li>・決算監査(公認会計士) 令和元年 5 月 28 日 平成 30 年度 監事会計事業監査</li> <li>・平成 30 年度決算に係る公認会計士期末監査 令和元年 5 月 7、13、20、21、27、28 日</li> <li>・児童福祉施設指導監査 令和元年 10 月 25 日 (鳥取第二幼稚園) 令和元年 11 月 6 日 (鳥取第四幼稚園)</li> <li>・公認会計士期中監査 令和元年 11 月 12 日、12 月 9 日、10 日</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"><li>• 令和元年度 2-3 月期中監査(公認会計士) 令和 2 年 2 月 27 日、3 月 4 日、8 日、11 日</li><li>• 令和元年度「学校法人調査」(平成 30 年事業対象) 令和 2 年 2 月 19 日</li></ul>
--	--



### 3 経営状況

#### (1) 鳥取学園経営理念

学校法人鳥取学園は、建学の精神に則り、教育を通じて社会に貢献することを経営の柱とする。園児・生徒・学生・保護者・卒業生及び教職員は一体となり、将来にわたって地域社会とともに歩いていくことを期し、次の点を重視し、強固な経営基盤の確立を図る。

- ・ 園児、生徒、学生を人として重んじ、それぞれの発達段階に応じた教育を通じて社会の負託に応える。
- ・ 経営における社会的責任を自覚し、透明性のある経営に努める。  
教職員と将来ビジョンを共有し、教職員の資質の向上と生活の安定
- ・ に努める。

#### (2) 鳥取学園経営方針

- ・ 収支バランスに配慮しながら、持続可能な経営を行う。
- ・ 投資にあたっては費用対効果を十分に検証するとともに、確実な投資資金の返済計画を立てて実践する。
- ・ 特に、高校校舎改築借入金の計画的かつ円滑な返済と日本語学校の早期経営安定に留意する。

#### (3) 経営状況の概要

次年度繰越支払資金は前年度176百万円の増から今年度85百万円の増へと大幅に縮小しているが、高校校舎改築資金は多額の借入金を充当しており、今後の長期間にわたる借入金の返済に備え、支払資金の確保は極めて重要な課題である。

また、令和元年度には第三幼稚園園舎の耐震補強工事を緊急で行ったところである。今後、認定こども園の幼保連携型への移行を含めた園舎の計画的な改修・改築の検討が必要である。

さらに、新型コロナウイルス感染症の影響により、開校2年目を迎えた日本語学校では未だに令和2年度の入学生を受け入れることができない状況となっている。学校の運営を早急に軌道に乗せ、学園経営に支障をきたすことのないように努める必要がある。

これらの各種課題に対応するために、引き続き経費の削減と学生生徒園児の確保による収入の増加を図り、経営の安定に努めなければならない。

#### (4) 資金収支の推移

※ 資金収支は当該会計年度の諸活動に対応する全ての収入と支出の内容（改築工事に係る収支を含む）と支払資金の収入と支出のてんまつを明らかにするもの

(単位:百万円)

年度	27	28	29	30	元	
収入 (A)	2,773	3,197	4,459	3,295	3,404	
城北高校	1,055	1,629	2,927	1,439	1,733	調整勘定等 を除く施設 別収入
幼稚園・認定こども園	1,185	802	850	925	871	
城北日本語学校				0	45	
事務局	0	20	19	0	0	
前受金収入・その他の収入	765	971	966	1,080	975	
資金収入調整勘定	▲ 232	▲ 224	▲ 303	▲ 150	▲ 220	
支出 (B)	2,777	3,215	4,340	3,119	3,319	
城北高校	1,119	1,519	2,801	1,431	1,648	調整勘定等 を除く施設 別支出
幼稚園・認定こども園	1,112	784	820	904	869	
城北日本語学校				43	61	
事務局	40	70	68	11	13	
資産運用支出・その他の支出	740	945	860	934	918	学園全体の 調整勘定等
資金支出調整勘定	▲ 234	▲ 103	▲ 210	▲ 203	▲ 190	
収支差額 (A-B)	▲ 4	▲ 17	119	176	85	
城北高校	▲ 64	110	125	9	85	調整勘定等 を除く施設 別収支差額
幼稚園・認定こども園	73	18	30	21	2	
城北日本語学校				▲ 42	▲ 16	
事務局	▲ 40	▲ 50	▲ 49	▲ 11	▲ 13	
その他の収支差額	25	26	106	146	57	学園全体の 調整勘定等
調整勘定収支差額	2	▲ 121	▲ 93	53	▲ 29	
次年度繰越支払資金	387	369	488	665	750	

令和2年度から高校校舎改築借入金の返済が始まる。10年間は県の利子助成があるが、将来の人口減少や緊急の事態にも対応できるよう、できるだけ多くの将来の返済充当できる資金を積み立てておく必要がある。

#### (5) 事業活動収支（消費収支）の推移

従来の消費収支計算書は平成28年度決算から事業活動収支計算書と名称が変わり様式も変更された。法人計と各部門別の収支については、従来の消費収支と比較している。

また、新たに設定された事業活動区分による収支を平成28年度から計上することとし、平成30年度及び令和元年度分（下表エ）を記載している。

※ 事業活動収支（消費収支）では教育活動に必要な資産の取得に係るものを除き（ただし施設整備費補助金を含む）、経常的な収支バランスを明らかにするもの

ア 学園全体の科目別収入及び施設別収入の推移

(単位:百万円)

年度	27	28	29	30	元	
学生生徒納付金	598	654	701	663	675	
手数料	24	24	23	22	18	
寄付金	5	44	13	9	26	
補助金	840	902	1,431	1,061	1,151	
運用収入	0	0	0	0	0	
事業収入	135	139	145	140	148	
雑収入	169	62	99	100	114	
合計	1,771	1,825	2,413	1,994	2,132	
施設別	城北高校	858	1,023	1,564	1,078	1,230
	幼稚園・認定こども園	913	802	850	916	858
	城北日本語学校				0	44
	事務局	0	0	0	0	0

イ 学園全体の科目別支出及び施設別支出の推移

(単位:百万円)

年度	27	28	29	30	元	
人件費	1,320	1,156	1,291	1,350	1,370	
経費	518	495	561	847	677	
借入金等利息	5	9	12	22	27	
資産処分差額	18	44	5	150	3	
徴収不能引当金	1	1	1	0	0	
合計	1,861	1,704	1,870	2,369	2,077	
施設別	城北高校	960	924	996	1,390	1,135
	幼稚園・認定こども園	856	756	818	924	867
	城北日本語学校				46	62
	事務局	45	23	56	9	13

ウ 施設別の収支差額の推移

(単位:百万円)

収支差額 (ア-イ)	▲ 90	121	544	▲ 375	55	
施設別	城北高校	▲ 102	99	568	▲ 312	95
	幼稚園・認定こども園	57	46	31	▲ 8	▲ 9
	城北日本語学校		0	0	▲ 46	▲ 18
	事務局	▲ 45	▲ 23	▲ 56	▲ 9	▲ 13

エ 令和元年度事業活動収支内訳

(単位:百万円)

内訳		城北高校	認定こども園	日本語学校	事務局	法人計
教育活動収支						
収入	H30	1,028	912	0	0	1,941
	R元	1,107	853	45	0	2,005
支出	H30	1,225	917	46	9	2,197
	R元	1,110	862	62	13	2,047
収支差額	H30	▲196	▲5	▲45	▲9	▲256
	R元	▲3	▲9	▲17	▲13	▲42
教育活動外収支						
収入	H30	0	0	0	0	0
	R元	0	0	0	0	0
支出	H30	18	3	0	0	22
	R元	24	3	0	0	27
収支差額	H30	▲18	▲3	▲0	▲0	▲22
	R元	▲24	▲3	▲0	▲0	▲27
特別収支						
収入	H30	49	4	0	0	53
	R元	122	5	0	0	127
支出	H30	147	4	0	0	150
	R元	2	1	0	0	3
収支差額	H30	▲98	0	▲0	0	▲97
	R元	120	4	0	0	124
基本金組入前	H30	▲312	▲8	▲46	▲9	▲375
当年度収支差額	R元	95	▲9	▲18	▲13	55
基本金組入額合計	H30	0	▲37	▲1	▲2	▲40
	R元	▲120	▲20	▲6	▲0	▲146
当年度収支差額	H30	▲312	▲45	▲47	▲11	▲415
	R元	▲25	▲29	▲24	▲13	▲91

→ウ表の網掛部分と一致

教育活動収支差額 城北高校△2百万、幼稚園△9百万、日本語学校△17百万である。  
 城北高校の特別収支差額120百万については、建築に係る補助金99百万とバス購入による寄付金16百万を含めた施設設備の収入部分が主である。  
 なお、前年(H30年度)の城北高校の収支差額は、建築解体による除却と費用350百万が影響している。

※ 基本金組入額

教育活動に必要な土地・建物、運転資金等を永続的な教育活動を担保するために計上するもので、観念的な簿記上の取引。

基本金を組み入れた上でこの収支がバランス(0以上)していれば、将来の固定資産取得時に取得資金が残っていることになる。

- ※ 第1号基本金 「現有の固定資産の金額」の財源的裏付けとなるもの
- 第2号基本金 「運転資金の金額」の財源的裏付けとなるもの